

[PR]

### 駅から始めているよ! 未来の森づくり



「伐って、使って、植えて、育てて、循環をつくる」という持続的な森林サイクルを保つために、駅員さんや工事をしているよ。約2年かけて育てて、大きくなったら多摩の森に植えるんだ。大きく成長したら、どこで使われるのかな? 楽しみだね。

旗の台駅で苗木育成中

### 今回取材した場所



#### 東急池上線 旗の台駅

2019年、「木になるリニューアル」で木の温かみのある駅舎に生まれ変わったよ。



東急線キャラクター

### のるるん



日本では国産木材の利用が進んでいないことによる林業事業者の減少や、森林の適切な伐採がなされていないといわれているんだ。だから、国内の木材利用を進めることで、「伐って、育てて、植えて、育つ」という持続的な森林サイクルを保つために、駅員さんや工事をしているよ。約2年かけて育てて、大きくなったら多摩の森に植えるんだ。大きく成長したら、どこで使われるのかな? 楽しみだね。

### 工務部は どんなお仕事をしているの?

使つて、植えて、育てて、循環をつくる」という持続的な森林サイクルを保つために、駅員さんや工事をしているよ。約2年かけて育てて、大きくなったら多摩の森に植えるんだ。大きく成長したら、どこで使われるのかな? 楽しみだね。

## 東急電鉄 こども記者クラブ

### 第1回 東急電鉄工務部 取材報告

1月11日(日)に行われた「東急電鉄こども記者クラブ」の取材模様をレポートします。

## こども記者のレポートと感想を紹介!!

### 事前に知っておこう

※東急電鉄のホームページなどを参考に、取材場所の下調べをしておこう

池上線が通る旗の台駅(2019年リニューアル)CLT(木質繊維板)に(多摩産の木材)を使用!

木の板をタテヨコに交互にはりあわせるのが特徴とメリット

- ①高い強度と安定性
- ②高い断熱性・遮音性
- ③設計の自由度が高い
- ④環境にやさしい

育てる

植える

伐る

使う

森林資源の有効活用ができる。二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を吸収・固定する

温室効果ガス削減、地球温暖化防止に貢献!

木が元気に育つことで、人の心も元気になる。CO<sub>2</sub>の削減は木材使用のメリットです。

### 気になったことを絵にしたり、写真をはりつけたりしよう

はまるとは約2,500円

### メモ(自由に記入しよう)

旗の台駅の木質繊維板(CLT)は多摩産の木材を使用し、CO<sub>2</sub>の削減に貢献している。

多摩産の木材は、CO<sub>2</sub>の削減に貢献している。

CO<sub>2</sub>の削減は木材使用のメリットです。

久保寺 萌絵さん

木の駅はすてきだと思いました。わたしも多摩の森にどんぐりの苗木を植えに行きたいです。

安山 光花さん

森を守る事を考えて、いろいろな取り組みをしている事がわかりました。

宮本 悠生さん

使う人と環境を考えて建てる物やまちづくりをしている。この東急電鉄の姿勢がすごいと思いました。

丸山 薫輝さん

千鳥町駅が2026年の秋にリニューアルするときいて、出来上がったら見に行きたいと思います。

須賀 のやみさん

人がたくさんあつまる駅を使って環境にいいことを発信していて、素敵な会社だなと思いました。

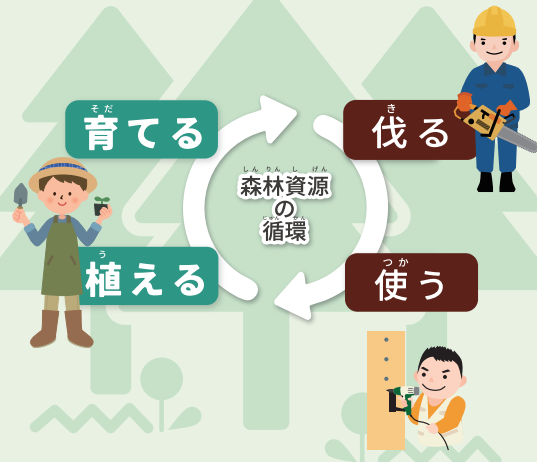
小菅 光輝さん

木になるリニューアルのそんざいを知れてよかったです。

[PR]

## 東急電鉄ががんばっている、木にいいことはみんなにいいこと

東急電鉄は「なにげない日々が、未来をうごかす」という思いをもって、地球にやさしい取り組みを進めています。そのひとつが「森林資源を上手に使いながら未来へつなげていく取り組み」です。森の木を「伐って、使って、植えて、育てて」また森に戻す『森林循環』という考え方があり、東急電鉄でも駅やホームに木を取り入れることで、街と森をつなげています。たとえば、多摩の森で育った木をホームの屋根に使ったり、古い駅の木材をリサイクルしたりして、CO<sub>2</sub>を減らす工夫をしています。さらに、こうした取り組みをもっと身近に感じてもらうために、子どもたちが楽しめるイベントも開催。駅で使われていた木材を使った工作やゲームを通じて、遊びながら木の大切さや森とのつながりを知り、きかけになるんだよ。東急電鉄は、脱炭素社会・循環型社会に向けて、森と街が仲良くなる未来をつくるために、これからもがんばります。



### 木造の駅舎について もっと教えて 近藤さん!!

Q 木で駅舎を建てる良さって?

東急電鉄株式会社 鉄道事業本部 工務部 施設課 技士 近藤 実緒さん

長い間皆さまに愛着を持っていただいていた木造駅舎の温かみのある雰囲気、リニューアル後も引き続き感じていただけることや、香りやはだざわりなど五感で心地よさを感じられることは木材ならではの良さだと考えています。日々の生活の中心である駅において、木材の良さを感じていただけたら、駅づくりをしている私としてもとてもうれしいです!

人へ、街へ、未来へ。

